

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月11日更新

事務事業名		たばこ販売団体活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	田代 真紀
	施策の柱	36	生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款7	項1	目2	事業連番11434	根拠法令	肥後大津たばこ販売協同組合補助金交付要綱	成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池たばこ販売協同組合のボランティア活動の様子を市の広報誌に掲載し、たばこを市内で購入するよう市民に対して啓発する。肥後大津たばこ販売協同組合（菊陽町、大津町、西原村、旧合志町）の設立に伴い町単位での下部組織が設立され取組みが始まった。
【業務の流れ】	ボランティア活動の様子取材し広報誌に掲載。肥後大津たばこ販売協同組合からの補助金申請受付、交付決定、実績報告、確定通知、支払。
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	平成20年5月にスタートした「成人識別たばこ自動販売機購入」に伴い、コンビニエンスストアで購入する人が増え、小売店の売上が減少している。健康志向とタバコの増税の影響もあり、喫煙率全体が減少傾向にある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
ボランティア活動(清掃作業)を取材し、市の広報誌に掲載した。		27年度実績を基に28年度も引き続き同様の活動を展開していく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア: ボランティア活動回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
肥後大津たばこ販売協同組合	社	⇒ア: 肥後大津たばこ販売協同組合の加盟数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
会の活動をPRすることで、会員の意識向上、市民へのPRに繋がる。	回	⇒ア: 広報掲載回数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
会の活動を市広報誌に掲載しPRすることで、たばこを市内で購入するよう市民に対して啓発する。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	2	2	2	2	1	1
	イ									
② 対象指標	ア	社	77	70	77	68	70	70	70	70
	イ									
③ 成果指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	90	90	90	90	90	90	90
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	90	90	90	90	90	90	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	63	71	63	29	63	63	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	2	3	2	1	2	2	0
		延べ業務時間	時間	16	18	16	8	16	16	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	63	71	63	29	63	63	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	153	161	153	119	153	153	0

事務事業名	たばこ販売店団体活動支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度的事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ボランティア活動（清掃活動）を行うことで、広く市民にPRできていることから目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 広く市民にPRするため、清掃等の活動回数増を団体に働きかける。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他町村も負担金を支出しており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 取材、広報誌への掲載のみであるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ボランティア活動であり市民に広くPRできる。また、地元でのたばこ購入者が増えれば、たばこ税の収納も増え、不特定多数の人に還元できるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会の活動を市が取材し、広報誌に掲載するなどのPR事業であるため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

組合による清掃活動を広報誌に掲載しPRしたことで、市内でのたばこ購入促進や喫煙マナーの向上が図られた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 広く市民にPRするため、清掃等の活動回数増を団体に働きかける。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								